

中之島図書館所蔵絵画展

# 菅 楯彦 の 典雅な世界

場所：大阪府立中之島図書館  
文芸ホール

日時：平成20年11月14日(金)～20日(木)  
午前9時～午後5時  
休館日 11月16日(日)

## 交通

地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅・京阪本線「淀屋橋」駅  
(1号出口)北東へ約300m  
京阪中之島線「大江橋」駅(6番出口)東へ約300m  
京阪中之島線「なにわ橋」駅(1番出口)西へ約300m  
大阪市役所東隣

## 問合せ

大阪府立中之島図書館 総務課  
〒530 - 0005  
大阪市北区中之島1 - 2 - 10  
TEL 06 - 6203 - 0474

## 展示作品

天王寺舞楽  
住吉御田  
木津川の秋雨  
町人講学  
浪花風俗十四図



## 菅 楯彦 の生涯

菅 楯彦(1878～1963)は明治11年に鳥取県で生まれる。

父は日本画家の菅盛南で幼い頃、父とともに大阪に移住した。父の病のため、楯彦11歳の時に父に代わって襖絵などを描いて生計を支えた。

以降、特定の師につくことなく、四条派、狩野派、土佐派、浮世絵と独学で絵画を研究した。もの心つく頃から大阪で過ごした楯彦は、純粹の大阪人と言ってよく、浪花の風俗を描く町絵師として独自のスタイルを確立した。

昭和33年、日本画家として初めての日本芸術院恩賜賞を受賞し、また、最初の大阪市名誉市民の榮譽を受けた。

昭和38年、85歳で逝去した。



尻無川の沙魚釣